

横倉山生物総合調査事業

谷地森秀二

(四国自然史科学研究センター・横倉山自然の森博物館)

本パネル展は
中間発表です

四国自然史科学研究センターでは、四国の野生生物についての実態把握と特性を明らかにすること、地域の生態系を総合的に把握すること、加えて学術的基礎資料の収集保存を目的として、任意の特定地域を定め当該地域を数年計画で調査を行ない、結果をとりまとめる事業「生物総合学術調査」を実施しています。

これまでに行った第1期は、高知県須崎市および土佐市に含まれる横浪半島とし、期間を2003年度より2007年度として実施しました。この時に得られた成果は、高知大学メディアの森を会場とした口頭発表会、横倉山自然の森博物館を会場とした企画展、学術報告書として発行した「横浪半島生物総合調査報告書」として、社会に発信してきました。

第2期は、高岡郡越知町の横倉山周辺地域とし、大学、研究機関、民間団体、個人が連携して横倉山周辺地域で調査を展開しています。事業の概要については、以下をご参照ください。

(1) 期間

- 2019年度
準備・予備調査
- 2020年度～2022年度
本調査
- 2023年度
企画展・講演会での発表

(2) 範囲

仁淀川と坂折川の合流点を起点とし、坂折川右岸をさかのぼり、越知町と仁淀川町境に至り、町境を北上して仁淀川に至り、仁淀川左岸を下降して仁淀川と坂折川の合流点に至る範囲で囲まれた範囲としています。

とくに、横倉山県立自然公園および横倉鳥獣保護区の範囲内の情報収集に力を入れています。



調査地域

(3) 調査対象・調査メンバー

調査対象の生物は、維管束植物、シダ植物、大型菌類(キノコ)、コケ類、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、貝類、甲殻類、陸上昆虫類、水生昆虫類、クモ・ムカデ類、クマムシ、その他微生物など多くの分野にわたっています。



調査対象の生物たちの一部

調査メンバーはとても多様で、高知県のレッドデータブックの作成にも関わられた生物調査研究の第一線で活躍している多くの個人・団体が協力しています。

また、横倉山の自然に魅了された高知県外、四国外の在住の研究者、さらにそれらの専門家に加えて、これから生物の研究を始めたいと思っている中学生や高校生、大学生、大人の方も調査員として参加できるように体制を整えています。

(4) 調査・実施内容

- 1) 生息種リスト作成
- 2) 既存情報との比較
- 3) 確認種の標本作製(保管研究用標本・展示用標本)

(5) 成果の発表

- 1) 2023年に、横倉山自然の森博物館で企画展。
- 2) 2023年に、横倉山自然の森博物館および高知市内でポスター発表+講演会。
- 3) 学術雑誌「四国自然史科学研究」他への投稿。

(6) おさそい

この活動を知って、横倉山に興味を持っていただけるようでしたら、**現地調査に参加してみませんか?** ご希望の方は、以下までご連絡ください。

谷地森秀二 E-Mail yachimori@lutra.jp

本パネル展は、令和2年度高知県豊かな環境づくり総合事業費補助金を受けて実施しています。